



日本骨髄バンクの現状（2018年4月末現在）

	3月	4月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,067	2,822	484,912	733,861
患者登録者数	205	220	3,762	53,588
移植例数	106	97	—	21,885

■4月年代別ドナー登録者数（現在数）

10代	4,396人
20代	72,315人
30代	137,359人
40代	208,064人
50代	62,778人

■4月の20歳未満の登録者 613人

■4月の区分別ドナー登録者数： 献血ルーム／790人、献血併行型集団登録会／1,944人、集団登録会／49人、その他／39人

■4月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数：476件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 市民公開講座「造血細胞移植の成果と課題を共有しよう」開催

市民公開講座「造血細胞移植の成果と課題を共有しよう」が5月12日（土）に国立がん研究センターで開催されました。当法人、NPO 法人血液情報広場・つばさ、厚生労働省研究班（福田班）の共催で、約250名が参加しました。造血細胞移植治療の解説、移植経験者の体験談のほか、これから移植を受ける方やすでに移植を経験している方から多数の質問を受け付け、共に考える機会となりました。

2 国会議事堂中庭で献血とドナー登録会

今年も国会議事堂衆議院中庭で、4月18日（水）に献血とドナー登録会が行われました。午前中の激しい雨にもかかわらず、多くの方々にご来場いただきました。骨髄・さい帯血バンク議員連盟副会長の吉田統彦議員が応援に駆けつけ、133名の方が献血されたほか、18名の方にドナー登録していただきました。ご協力いただいた皆さまに改めて御礼申し上げます。

3 劇団俳優座「首のないかまきり」初公演

劇団俳優座（東京・六本木）による舞台「首のないかまきり」が初公演されます。幼なじみが白血病で急逝したことから起こった姉妹の葛藤をはじめ、骨髄バンク、最新がん治療の問題、臍帯血バンク、献体など、命を考えるモチーフをからめて、それぞれの立場で《命の距離》を見つめる家族の生々しい群像劇を描いています。公演日程は5月18日（金）から6月3日（日）まで。（会場は劇団俳優座5階稽古場）

<問い合わせ先> 劇団俳優座 TEL：03-3405-4743／03-3470-2888

Confetti (カンフェティ) TEL：0120-240-540 <http://confetti-web.com/>

4 公式サイト「ドナーズネット」をリニューアルします【予告】

当法人のもうひとつの公式サイト「ドナーズネット」をリニューアルする予定です。「ドナーズネット」は、ドナー登録を検討している方やすでにドナー登録された方に向けて、骨髄バンク事業をわかりやすく紹介し、ドナー登録に向けての行動や、登録した方の提供意思の維持につなげるためのサイトです。この役割を強化し、とくに20代から30代の若年層への理解を広げることを目的として、もっと親しみやすい内容で再構成した新しいコミュニティサイトに生まれ変わります。骨髄バンクスペシャルサイトとして6月に公開予定です。詳しくは次号でご紹介します。

5 ドナー助成制度、新たに6つの自治体で導入

新たに6市区町で、骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度がスタートしました。全国で370市区町村となります。助成内容は各自治体によって異なりますので、直接お問い合わせください。当法人ホームページにお問い合わせ先一覧を掲載しています。

* HOME>ドナー登録されている方へ>骨髄・末梢血幹細胞の提供までのながれ>提供ドナー助成制度を導入している地方自治体・民間団体

■新たに導入した自治体

- 葛飾区、中央区、武蔵村山市（以上、東京都）
- 阿南市（徳島県） ○善通寺市、三木町（以上、香川県）

※お詫びと訂正※

前号のマンスリーJMDP（2018年4月13日発行）で下記の誤りがありました。お詫びと訂正を申し上げます。

- [正] 野々市市（石川県）、守口市（大阪府）については、ドナー助成制度は未導入です。
- [誤] 予算の半分を補助する都府県数 16 ⇒ [正] 予算の半分を補助する都府県数 15

6 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設認定について

下記の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設として認定されました。

- 東京大学医学部附属病院
- 市立旭川病院

これにより末梢血幹細胞採取認定施設数は108施設となりました。新規認定施設は当法人ホームページでもご覧いただけます。

* HOME>患者さんへ>移植認定病院 または ドナー登録されている方へ>面談施設一覧

7 当法人の会議等開催予定

傍聴ご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	5月17日（木）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室
通常理事会	公開・一部非公開	6月5日（火）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室
通常評議員会	公開・一部非公開	6月21日（木）16時～ 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

8 診療報酬改定に伴う合意書締結のお願い

非血縁者間移植の診療報酬点数が2018年4月1日より1万点増加（骨髄移植または末梢血幹細胞移植において、非血縁者間移植を実施した場合の移植加算）しました。これに伴い、当法人と各施設との間で支払いに関する合意書を新たに締結しています。3月末に合意書をお送りしましたが、未返送の施設におかれましては、早急にご返送いただきますようお願いいたします。

<お問い合わせ先> 日本骨髄バンク 総務部 診療報酬担当 市山・上原 TEL：03-5280-8111

9 【安全情報】 ①G-CSF投与量過誤（過少・過剰）事例、②ヘパリン過剰投与事例

非血縁者間末梢血幹細胞ドナーに、G-CSF投与量を過誤（過少・過剰）した事例が2件報告されました。また、骨髄液中の最終ヘパリン濃度が高値であった事例が報告されました。詳細は別紙をご確認ください。

10 【安全情報】 骨髄液輸注時に骨髄液バッグが破損した事例について <認定施設の医師の方へ>

骨髄液輸注時、骨髄液バッグへの連結管接続の際にバッグが破損し骨髄液が漏れた事例が発生しました。原因は、連結時にバッグを斜めに持って連結管に挿入したためと思われるとのことです。

なお、過去にも同様の事象について安全情報を発出していますが、現状でも起こりうる事象としてあらためてご認識いただきたく、情報提供します。詳細は5月15日付安全情報をご確認ください。当法人ホームページでもご覧いただけます。

*HOME > 医師の方へ > 医師宛通知文【患者主治医向け】

11 JSHCT移植認定施設 診療科情報の当法人ホームページでの情報公開について <認定施設の医師の方へ>

非血縁者間造血幹細胞移植を施行するための要件は、一般社団法人日本造血細胞移植学会（JSHCT）の定めた移植施設認定基準（新基準）による認定に完全移行されました。

これに伴い、JSHCT移植施設認定審査ならびに年次調査をふまえ、当法人ホームページで公開している診療科情報を4月20日付で更新しました。この情報は造血幹細胞移植を希望する患者さんや一般の方への情報提供としても公開しています。

*HOME > 患者さんへ > 登録から移植まで > 移植認定病院

なお、公開情報について修正等がありましたら、下記あてお知らせください。

日本骨髄バンク 新規事業部 TEL：03-5244-5885 E-Mail：shinki@jmdp.or.jp)

12 「骨髄・末梢血幹細胞ドナー手帳」（第3版第1刷）の発行について

日本造血細胞移植学会と共同で発行している「骨髄・末梢血幹細胞ドナー手帳」の改訂を行い、第3版第1刷を発行しました。

今回の改訂内容は、主に血縁ドナーの「フォローアップアンケート」終了に伴う本文変更のため、血縁ドナーの方には5月1日から配布を開始しています。

非血縁ドナーの方には、各地区事務局の在庫がなくなりしだい、順次改訂版を送付します。すでに送付済みの分については、差し替えの必要はありません。

医師の方、コーディネーターの方には、今号のマンスリーJMDPにドナー手帳（見本）と新旧対照表を同封します。